

社員の特技を活かし クリスマスに手作りチャリティ



プロジェクトノエル

「世の中の恵まれない人たちのために、社員が知恵を出し合って手作りで始めたのがプロジェクトノエルです」とトヨタモーターヨーロッパ(TME)で社会貢献を進めるスティーブ・ホープさん。60近い異なる言語を母国語とするTME社員は、文化も多様で社会的な課題にも敏感だ。2013年に開始してからはNPOとの連携も強め、ボランティアのチームワークの輪を広げてきた。社員の特技を活かしたチャリティでは、手作りのケーキやお菓子の販売のほか、これまで写真撮影会やヨガ教室にコンサートなども実施。社員が出し合った寄付金は総額4万4千ユーロ(約600万円)にのぼる。集めたお金は、寒い欧州の冬に、家もなく困窮する人たちの生活支援に充てられている。



ボランティア22人でつくったケーキ類は種類が豊富。食べ始めるととまらない手作りチョコレートも好評で、売上は目標を突破。恵まれない人に心を寄せて、力を合わせました。
トヨタモーターヨーロッパ 部品管理、アフターセールス担当
キャサリン・バージェスさん



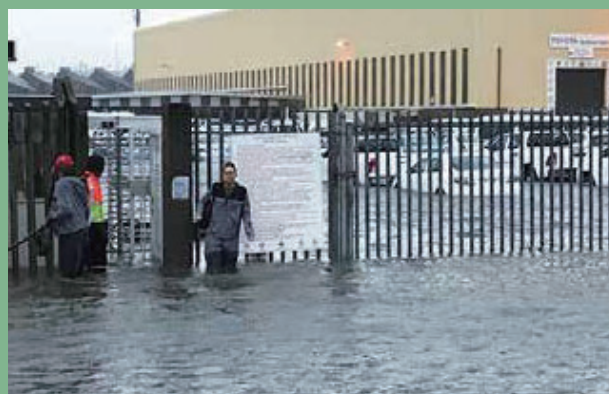
ベトナムで「安全運転の心」を広める

トヨタ「安全運転インストラクター養成」プログラム

2015年の世界保健機構(WHO)の報告によると、ベトナムでは年間約2万3000件の交通事故が発生。8671人が尊い命を落とす厳しい状況となっている。このような背景を踏まえ、トヨタモーターベトナム(TMV)と地元警察は共同で、運転技術と交通安全マインドを広める「安全運転インストラクター」の養成を開始。安全運転指導に経験豊富な講師をトヨタ自動車から派遣している。17年11月には、現地インストラクター1期生のTMV社員が講師となり、135名のお客様に安全運転教室を開催。「より多くの方に、学んだことを伝えていきたい」と抱負を語った。



ハノイの交通事情を伝えたくて、ヒヤリとしながら撮影。今後もTMVと共に、少しでも交通事故が減ることに寄与していきたいです。
トヨタ自動車 社会貢献推進部
坂主よしみさん



チーム一丸となった災害復旧支援

南アフリカ・ダーバン洪水被災支援

2017年10月、南アフリカのダーバンで大規模洪水が発生。死者11名、5つの病院、42の学校などが被災した。トヨタの工場やディーラーが被災する中、トヨタサウスアフリカモーター(TSAM)はただちに復興支援チームを結成。100人を超える社員がボランティアとして参加し、のべ20の小中学校の再建など、早期復旧に貢献した。「チーム一丸で困難に挑戦するトヨタの精神が活かされた。強い自信と誇りを感じた」と社員からの声があがった。



トヨタサウスアフリカモーター
ゼネラルマネージャー
ジェニー・マレさん

これまで経験したことのない災害でしたが、TSAMのスタッフと地域の人たちとの早期復旧への取り組みは、とても素晴らしいものでした。

災害支援

自然災害発生時には義援金だけでなく、物的支援およびボランティア活動など人的支援を迅速に実施。また災害直後だけではなく、被災地の実情に合わせた災害復興支援活動も行っている。